



青年部とは 学校みたいなところ



【会社・仕事への思い】

歯科技工士免許を取得するも、歯科技工の職には就かず、学生の頃からアルバイトしていたパチンコ屋で卒業後もそのまま働いていました。兄が結婚する時にフリーターで紹介されたくないと、歯科医院に飛び込み、働かせてもらうことにしました。

歯科技工の技術を更に磨きたいと考え、歯科医院を勤めながら、夜は歯科技工所でアルバイトを始め、そのアルバイト先からラブコールを受け、歯科医院を退職し歯科技工所で正社員として雇ってもらうことになり、その歯科技工所が今の株式会社コットンテールで現在に至り、飲食事業も行っています。

【青年部に入会されたきっかけ】

当時の社長の勧めもあり入会し、当時は何も分からず、委員会、例会、対外事業などに積極的に参加しました。

自分は組織を学ぶという想いの下、年齢も様々な環境で勉強しながら、会長の想いを達成するためにどうすべきかを常に考えながら活動してきました。

【思い出に残る青年部活動】

一つには絞れません。自分が入会してから今現在までが一連の流れがあったと思います。

数多くの役を務め、27年度会長を引き受けるまでの経緯も紆余曲折がありましたが、25年度県連委員長の時もYEGDAY当日、発作が出てしまいましたが強行しました。26年第一副会長の時はやむなく理事会を欠席してしまうほど体を酷使したこともありました。

楽しいこと、真面目なこと、大変なこと、全部ひっくるめて会長まで務めさせていただいたことが一つのストーリーとして自分の中に残っています。

【趣味など】

サッカーは青年部に入会する前から友人らと遊びでやっていました。青年部のサッカー部は私が入会当時、メンバーも20人ほどいてとても勢いがありました。サッカーを通じて人脈も広がりました。観るよりも体を動かすことが好きです。

【青年部とは・・・】

「青年部とは学校」

青年部活動は趣味も仕事も実益も兼ねていると思います。遊ぶことも、学ぶことも、友達を作ることでもできる学校みたいなところ。学費は結構掛かりますが…。

現役メンバーには、お金を払って入会している以上、それに見合うだけのものを持ち帰らないといけないと伝えたいです。自社だけでは経験できないことが多く、様々な人と深く交流することで自分の経験値を上げることができます。

多くを持ち帰って活用してほしい。結果としてより多くの思い出を残すことができ、大きな財産になりました。



取材担当/
地域振興委員会
菊池光太郎、深澤創一
金井淳一郎、加藤静真
西森紳司